

2017年度 第6回男女共同参画委員会報告

開催日 2017年10月11日(水) 13:30～16:05 1階多目的ホール

委員 8名 (欠席 1名)

1. ミニ学習・・・朝日新聞DIGITALより「ジェンダーとメディア」

パネルディスカッション「ステレオタイプ」を超えて

- ・とりわけ、女性の描かれ方（子育ては女性の仕事など）には違和感を持つことが多い。
- ・広告は、現実から2歩3歩も後れをとっている（決定権者は圧倒的に男性が多い）。
- ・ゲイの人物を「オネエ言葉を使うクネクネした男性」ではなく、単に恋愛対象が男性の人として登場させた。
- ・悪気のない言動が、女/男はこうあるべきだ、という押し付けになることもある。思い込みに気づくきっかけになるような「問う表現」が増えるといいと思う。
- ・メディアスポーツは、男性アスリートを自律的、能動的な存在として描く一方、女性を依存的、受動的と特徴づけることが多い。メディアが安易な物語を量産しないことと、受け手が安易に物語に酔わないこと。

2. 報告・・・富田久子先生

プロフィール

総務省行政相談委員、法務省人権擁護委員、エンパワメント堺理事（あらゆる暴力から子どもを守るプログラム）、大阪家庭少年友の会会員（少年の更正やその家族の支援）、大阪家庭裁判所家事調停委員、津久野小学校（校区自治連合会事務局長、校区青少年指導委員、学校評価委員、井戸端コーディネーター）

2月組合員企画のテーマを設定するにあたり、講師（富田先生）より、行政関連の仕事から学校関係の仕事まで、幅広い役割の中で遭遇されたさまざまな事例をご紹介いただきました。その中で、「男」「女」で種別するのではなく「その人はその人としてありのままを受け入れること」「こうあるべきではなく、失敗したらいい、固定観念に捉われることはない」「相談を受けたら、寄り添える人になりたい」「悩んでいるのは自分だけじゃない」「心にたまっていることを吐き出すことの大切さ」・・・等々多くの貴重な助言をいただきました。

3. 協議

① 講演会・・・富田久子先生のお話を受けて

- ・テーマ・・・「私らしく！」って、何？

今回お話いただいたようなさまざまな事例紹介から、講演を聞かれた組合員が、肩から力が抜けて、気持ちが軽くなっていただけるようなお話をしていただく。

- ・日程・・・2018年2月の土日

- ・会場

河内長野（ノバティホール・河内長野駅前ノバティながの南館3階）もしくは松原（ゆめニティプラザ・河内松原駅前ゆめニティまつばら3階）

- ・12月アピエ掲載で12月締切、年明けにハガキで通知。

4. その他

- ①大阪府生協連ジェンダー協議会報告（9/20）・・・公開学習会 2/4(日) ドーンセンター
NPO法人ファザーリング・ジャパン関西 理事長 篠田厚志氏
- ②体験企画・・・スポーツ吹矢体験 2018年1月27日（土）
 - ・10月18日（水）10：30 日本スポーツ吹矢協会関西支部にて打合せ
 - ・12月アピエ掲載で12月締切、年明けにハガキで通知。
- ③行政訪問
 - ・富田林市・・・10/25（水）10時（松本副理事長・長里理事・神谷理事、安嶋理事・田中理事・椿原理事）富田林市役所4階 人権政策課（北村さま）
 - ・泉大津市・・・10/30（月）10時（坂井理事、安嶋理事、花田理事、椿原理事、辻）市役所1階2番窓口・人権市民協働課（課長補佐の野村さま、小島さま）
- ④講演会への参加
 - ・ヒープ協議会シンポジウム・・・10/27「次世代の仕事と生活の調和を創造する」
 - ・大阪府主催・・・11/16「居場所のない若年女子・女性の貧困」
- ⑤その他
 - ・東大阪市「男女共同参画社会をめざす情報紙 HOW」
 - ・和泉市「デートDV講演会」11/15

次回委員会は、11月1日（水）13：30～ 1階多目的ホール